

# 目次

■ 論文	中條 健志	フランスにおける「移民」の歴史化 —— 国立移民歴史館開館をめぐるメディア・ディスコースの分析 ——	2
	池田 一城	観光の枠組みと地域の文化・社会的コンテクスト —— 高野山「ろうそく祭り」を中心として ——	13
	丸山 倫世	有吉佐和子『紀ノ川』を「地方」と「都市」から読む —— 『紀ノ川』における紀北地方の位置 ——	26
	田渕 欣也	楊家将物語と『水滸傳』 —— 「破天陣」と「九宮八卦陣」の比較を中心として ——	42
■ 研究ノート	早澤 茂	1930・40年代日本人学校・在外指定学校の機能 —— フィリピン・ピコール地方を例として ——	52
	八木 寛之	「都心回帰」時代における大都市の人口移動 —— 国勢調査データによる5都市の比較分析 ——	68
■ 研究展望	佐伯(片倉) 綾那	12世紀ビザンツの歴史書『アレクシオス1世伝』をめぐる研究動向	81
■ シンポジウム	市大文学部と「都市文化研究」再考 (大阪市立大学文学部創設60周年記念学術シンポジウム)		
	山崎 孝史	趣旨説明	87
	海老根 剛	エクセレンスの大学, 人文学, 都市 —— 大阪市立大学文学研究科のこの10年を文脈化する ——	89
	笹島 秀晃	都市と文化の社会学に向けて —— 芸術家とジェントリフィケーションに関する近年の研究動向からの視座 ——	97
	王 静	フードツーリズムと新・大阪文化創造	103
	山口 晋	ストリートの「文化実践」からみる都市研究の可能性	109
	谷 富夫	文学部2000年代のアイデンティティ構築 —— 「都市文化研究」の創造と展開 ——	114
	佐々木雅幸	包摂型創造都市・大阪	119
		パネル・ディスカッション	129
	■ 翻訳	ティルマン・ハーランダー (前田充洋訳・北村昌史解題)	社会的混合か分断か —— 都市と住宅経済のための挑戦 ——
■ 書評	横山 博俊	藤本 猛, 2014, 『風流天子と「君主独裁制」—— 北宋徽宗朝政治史の研究』, 京都大学学術出版会	146
■ 海外レポート	前田 充洋	ビーレフェルト留学体験記 —— 研究と交流をめぐって ——	149
	塩 卓悟	台湾中央研究院の研究環境	152
	田保 顕	韓国社会における英語の意味 —— 韓国・釜山での調査から ——	154
■ ニュース 投稿規定 編集後記 執筆者一覧			156
			177
			178
			179

表紙の写真はドイツの都市ビーレフェルトにあるシュパレンブルク城砦跡。13世紀中葉にラフェンスベルク伯によって建てられたこの城砦は、居住地、軍事拠点、官公庁舎や監獄など様々な目的で利用されてきた。現在は内部を修繕し、レストランになっている。春から秋にかけて塔に登ることができ、ビーレフェルトの街並みを一望することができる。 文：前田 充洋